

金融広報中央委員会の活動 (2017年度<平成29年度>)

知るぽると

www.shiruporuto.jp

金融広報中央委員会

(事務局 日本銀行情報サービス局内)

金融広報中央委員会の活動

(2017年度<平成29年度>)

はじめに

I 学校における金融教育

1. 次期学習指導要領に対応した金融教育の拡充
2. 高等学校等における成年年齢引き下げに備えた教育の拡充
3. 教員向け支援の拡充
4. 金融教育フェスタの開催等

II 大学における金融教育

1. 講義機会と内容の拡充
2. 教育の担い手の拡充に向けた取り組み

III 社会人向けの金融教育

1. 各層の関心・ニーズに適合した情報発信
2. 多様な団体等との連携強化
3. 広報誌「くらし塾 きんゆう塾」の発行
4. 刊行物の発行・改訂
5. 国際的な意見・情報交換
6. その他

IV 各地の金融広報活動に対する支援

1. 活動事例等の共有
2. ノウハウの向上
3. 各種活動の効果的かつ効率的な運用

〔参考〕都道府県金融広報委員会を通じた活動

1. 金融広報アドバイザー制度
2. 金融学習グループ制度
3. 金融・金銭教育研究校制度
4. 金融教育研究グループ制度
5. 金融学習特別推進地区制度

(資料) 金融広報委員会活動の相互連携図

はじめに

2017年度は、金融広報を取り巻く外部環境の変化が一段と進展した年でした。まず、小・中学校の新しい学習指導要領が2017年3月末に告示されたのに続き、2018年3月末には高等学校の新学習指導要領も告示されました。新しい学習指導要領では、金融教育の要素がより一層盛り込まれています。

次に、成年年齢の引き下げについて、民法改正案が国会に提出されました（同民法改正案は2018年6月に成立、2022年4月の施行が決定）。このため、金融広報中央委員会では、成年年齢に達する前の高校生等がお金や契約に関する最低限の知識を身に付けておく必要性を各方面に訴えるとともに、若年層向けの金融教育の拡充に取り組みました。

また、少子高齢化が進む中で、公的な社会保障制度をベースとしつつも、国民一人ひとりが長期的な視点に立って自ら資産形成に取り組むことの重要性も増してきています。こうした中で、2017年1月の個人型確定拠出年金（iDeCo〈イデコ〉）の対象者拡大や、2018年1月のつみたてNISA（少額投資非課税制度）の開始といった、資産形成を支援する優遇税制が政府によって拡充された点は大きな変化です。「長期・積立・分散」による長期的な資産形成のメリットを国民——特にその効果を享受しやすい若い世代——に理解して頂くことも大切です。

金融広報中央委員会では、こうした環境変化を意識した金融広報活動を、都道府県金融広報委員会、行政機関、関係団体等と密接に連携しながら、引き続き積極的に展開して参りたいと考えています。

学校における金融教育

1. 次期学習指導要領に対応した金融教育の拡充

2017年度は、2017年3月末に告示された小・中学校の新学習指導要領や、2017年度内告示に向けて検討が進められた高等学校の新学習指導要領への対応を目指し、『金融教育プログラム[全面改訂版]—社会の中で生きる力を育む授業とは—』等に基づく金融教育の取り組みを多様なチャンネルで教育現場に働き掛け、更なる実践の拡大と教育内容の充実を図りました。

まず、次期学習指導要領に即した教材の作成について審議を行うことを目的として、「学校における金融教育推進のための教材研究会」（事務局：当委員会）を設置しました。2017年4月以降、同研究会を計3回開催し、中学生用教材の新規作成について審議を行いました。その内容を踏まえ、中学生用金融教育教材（社会科<公民的分野>教材2種類・同指導書および技術・家庭科<家庭分野>教材・同指導書）を作成し、全国の中学校および教育委員会等に配付するとともに、当委員会ホームページに掲載しました。



【中学生用金融教育教材（社会科および技術・家庭科）】

また、当委員会主催の教員向けセミナー（後述）において、次期学習指導要領の下での金融教育をテーマとするパネル・ディスカッションを行うとともに、起業をはじめとするさまざまなテーマによる金融教育の授業実践内容の紹介と参加型ワークショップを実施しました。

さらに、2018年2月にパブリック・コメントの募集が行われた「高等学校学習指導要領案」についても、文部科学省に対し、当委員会として意見書を提出しました。

2. 高等学校等における成年年齢引き下げに備えた教育の拡充

成年年齢の引き下げの可能性を念頭に置き¹、2017年7月に、高校生用教材『これであなたもひとり立ち』を全国の高等学校および教育委員会等に配付しました。

また、成年年齢の引き下げが行われた場合の影響や『これであなたもひとり立ち』の指導用電子教材（CD-ROM）の利用方法等について、当委員会および都道府県金融広報委員会（以下、各地委員会）主催の研修会等で教員や金融広報アドバイザーに解説しました。

さらに、当委員会事務局員が日本弁護士連合会のシンポジウムに登壇したほか、同会とともに日本PTA全国協議会との意見交換を実施しました。

3. 教員向け支援の拡充

（「先生のための金融教育セミナー」の開催）

当委員会および各地委員会では、小学校・中学校・高等学校・大学等の教員

¹ 成年年齢を引き下げる民法改正案は、2018年6月に国会で成立し、2022年4月に施行されることとなった。

等を対象に、学校における金融教育の重要性や具体的な実践ノウハウを紹介する「先生のための金融教育セミナー」を開催しています。

2017年度も、前年度に引き続き、当委員会主催の「先生のための金融教育セミナー」を、東京都（千代田区）で2回開催（2017年8月）したほか、「金融教育フェスタ」（後述）のプログラムの一環としても、石川と長崎の2か所で開催しました（各セミナーの詳細については、別添1を参照）。また、2018年1月に、他団体（経済教育ネットワーク）と「先生のための経済教室」を那覇市で共催しました。

このほか、各地委員会主催の教員向けセミナーや金融・金銭教育協議会への講師紹介・派遣等についても継続的に実施しました。

（小論文・作文コンクールの開催）

2017年度も、中学生向けの「おかねの作文」コンクール、高校生向けの「金融と経済を考える」小論文コンクール、教員向けの金融教育に関する小論文・実践報告コンクールを実施しました。なお、中学生向けの「おかねの作文」コンクールは50回目の開催であったため、それを記念する特別賞を設けました。

①「おかねの作文」コンクール（中学生向け）

当委員会では、中学生が金融や経済に興味を持ち、それを作文に仕上げることを通じて「考える力」、「伝える力」を高めることを目的として、「おかねの作文」コンクールを実施しています。

「おかねの作文」コンクールは今年度で50回を数え、学校応募が3,366編、個人応募が25編で計3,391編の応募がありました。審査の結果、特選5編、50回記念特別賞1編、秀作4編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。

このうち、特選²、秀作、学校賞（特選受賞者在籍校が受賞）の入賞結果は次のとおりです。

【審査員】（敬称略）

本田 幸一	金融庁総務企画局政策課課長補佐
澤井 陽介	文部科学省初等中等教育局視学官
東川 勝哉	公益社団法人日本PTA全国協議会会長
新飯田 潤一	全日本中学校国語教育研究協議会会長
蔵本 雅史	日本銀行情報サービス局金融広報課長
加藤 健吾	金融広報中央委員会事務局次長

【表彰作品】

（特選）5編

（敬称略）

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 和歌山県 和歌山市立貴志中学校 3年 瓜生田 彩月	「活かたお金」の使い方
文部科学大臣賞 千葉県 銚子市立銚子中学校 2年 池田 凜太郎	人のため社会のために
日本銀行総裁賞 広島県 広島大学附属東雲中学校 3年 高岡 沙弥	我が家のコーヒーショップ
日本PTA全国協議会会長賞 栃木県 宇都宮短期大学附属中学校 1年 吉澤 奈々	五千円の価値
金融広報中央委員会会長賞 千葉県 浦安市立浦安中学校 1年 森山 ひかる	使ってこそ

² 特選の5編は、①金融担当大臣賞、②文部科学大臣賞、③日本銀行総裁賞、④日本PTA全国協議会会長賞、⑤金融広報中央委員会会長賞としても表彰しています。

(50 回記念特別賞)

(敬称略)

入賞者	作品名
茨城県 日立市立十王中学校 2年 植木 柚来里	着物に思いをつなぐ

(秀作) 4 編

(敬称略)

入賞者	作品名
大分県 向陽中学校 2年 阿南 善太郎	祖父の思い
千葉県 千葉大学教育学部附属中学校 3年 下ヶ橋 ひかる	お金の使い方
新潟県 新潟大学教育学部附属新潟中学校 3年 荒川 みのり	仕事をするということ
静岡県 静岡市立清水第二中学校 3年 村松 悠加	お金と物と未来と私

(学校賞)

栃木県 宇都宮短期大学附属中学校
千葉県 浦安市立浦安中学校
千葉県 銚子市立銚子中学校
和歌山県 和歌山市立貴志中学校
広島県 広島大学附属東雲中学校

②「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール（高校生向け）

当委員会では、高校生・高等専門学校生・高等専修学校生が、金融や経済について関心を持ち、自身の考えを論理的に記述することを通じて思考力や表現力を高めることを目的とした「金融と経済を考える」高校生小論文コンクールを実施しています。

15 回目となる今回は、学校応募が 2,823 編、個人応募が 85 編で計 2,908 編の応募がありました。審査結果の詳細は、特選 5 編³、秀作 5 編、佳作 50 編を入賞

³ 特選の 5 編は、①金融担当大臣賞、②文部科学大臣賞、③日本銀行総裁賞、④全国公民科・社会科教育研究会会長賞、⑤金融広報中央委員会会長賞としても表彰しています。

作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞（特選受賞者在籍校が受賞）の入賞結果は次のとおりです。

【審査員】（敬称略）

天野 晴子	日本女子大学教授
松島 斉	東京大学大学院教授
山田 真哉	公認会計士・税理士
八幡 道典	金融庁総務企画局政策課政策監理官
矢幅 清司	文部科学省初等中等教育局視学官
上村 肇	全国公民科・社会科教育研究会会長
鶴海 誠一	日本銀行情報サービス局長
吉國 眞一	金融広報中央委員会会長

【表彰作品】

(特選) 5 編

(敬称略)

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 新潟県 新潟県立新潟高等学校 1年 高橋 まりあ	曾祖父の筆入れ
文部科学大臣賞 兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年 志藤 風花	貧富の差が生む教育格差
日本銀行総裁賞 兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年 本田 喜美華	人はなぜ「働く」のか
全国公民科・社会科教育研究会会長賞 兵庫県 雲雀丘学園高等学校 2年 武田 薫水	もやし 18 円
金融広報中央委員会会長賞 福島県 福島県立視覚支援学校高等部 2年 遠藤 未来	希望への道

(秀作) 5 編

(敬称略)

入賞者	作品名
岩手県 岩手県立一関第一高等学校 1年 眞尾 夏海	農業の背骨 米づくり
愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校 4年 宇都宮 快斗	多様性と平等の中での経済の 役割
大分県 大分県立大分舞鶴高等学校 2年 中馬 きらら	「ももたろう」から考える日本 経済
大分県 大分東明高等学校 2年 藤並 蒼史	人工知能が経済にもたらす 影響
東京都 中央大学高等学校 3年 難波江 春風	空き寺問題について

(学校賞)

福島県 福島県立視覚支援学校高等部
新潟県 新潟県立新潟高等学校
兵庫県 西宮市立西宮高等学校
兵庫県 雲雀丘学園高等学校

③ 金融教育に関する小論文・実践報告コンクール (教員向け)

当委員会では、学校教育における金融教育の重要性が指摘される中、全国の教育関係者が、金融教育のあり方について、関心を高めるとともに、議論を深める契機を提供することを目的に、「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」を実施しています。本コンクールは、全国の幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校の教員、教職課程在籍または教職を目指す大学生・大学院生、大学教官等の研究者を対象に、「小論文部門」、「実践報告部門」、「研究校部門」の3部門で、金融教育に関する提言、実践事例や実践計画等を募集するものです。

第14回となる今回の応募総数は、21編でした。審査の結果、特賞1編（実践

報告部門)、優秀賞 2 編 (実践報告部門 2 編)、奨励賞 4 編 (小論文部門 4 編)、
推奨実践事例賞 1 編 (研究校部門) を入賞作品として表彰しました。

【審査員】(敬称略)

大杉 昭英	独立行政法人教職員支援機構次世代型教育推進センター 上席フェロー
神山 久美	山梨大学大学院准教授
河野 公子	聖徳大学大学院講師
松島 斉	東京大学大学院教授
向山 行雄	帝京大学大学院教授
内藤 誠吾	NHK 制作局第 1 制作センター経済・社会情報番組部長
鶴海 誠一	日本銀行情報サービス局長
吉國 眞一	金融広報中央委員会会長

【表彰論文】

(特賞) 1 編

(敬称略)

入賞者	作品名
【実践報告部門】 山口県 周防大島町立東和中学校 教諭 西村 仁明	アントレプレナーシップにおける金融教育 ～東和中学校のアントレプレナーシップの実践報告～

(優秀賞) 2 編

(敬称略)

入賞者	作品名
【実践報告部門】 埼玉県 春日部市立中野中学校 教諭 小谷 勇人	六次産業化を意識した起業家教育 ～中学生が地元の農産物を栽培し、商品開発・販売するまでの取り組み～

<p>【実践報告部門】 東京都 本郷中学校・高等学校 教諭 横山 省一</p>	<p>経験学習モデルによる株式投資と経営の授業 ～金融教育における主体的な学習活動の実践～</p>
---	---

(奨励賞) 4 編

(敬称略)

入賞者	作品名
<p>【小論文部門】 北海道教育大学札幌校 国際経済研究室 知野 菜奈美 (北海道 北海道教育大学札幌校 4年) 板垣 知志 (北海道 北海道教育大学札幌校 4年) 大沼 美咲 (北海道 北海道教育大学札幌校 4年) 鈴木 柴乃 (北海道 北海道教育大学札幌校 4年) 森本 拓斗 (北海道 北海道教育大学札幌校 4年) 米山 朋希 (北海道 北海道教育大学札幌校 4年)</p>	<p>中学校社会科の歴史学習における金融教育の教材開発 ―世界恐慌を題材に―</p>
<p>【小論文部門】 北海道 旭川市立愛宕東小学校 特別支援教育指導員 難波 繁之</p>	<p>ICTによるアクティブ型の金融教育を目指す ～ディーパーラーニング (Deeper Learning) による金融システムの理解～</p>
<p>【小論文部門】 愛知県 愛知教育大学 講師 西尾 圭一郎</p>	<p>事前調査を踏まえた大学における金融教育の実践とその効果測定</p>
<p>【小論文部門】 京都府 同志社女子大学 准教授 大倉 真人</p>	<p>大学における「金融教育研究の教育」の実践例 ―新たな金融教育手法にかかる提言―</p>

(推奨実践事例賞) 1 編

(敬称略)

入賞者	作品名
【研究校部門】 長野県 松本市立島立小学校 講師 小原 由紀夫	みんなの山辺っ子カンパニー ～ブドウ作りから学んだこと～

(「金融教育公開授業」の開催)

「金融教育公開授業」は、金融教育の重要性について、広くかつ深く理解頂くために、学校で実施される金融教育関連の実際の授業を、教育関係者、保護者、地域住民の方々など、数多くの方に参観頂くものです。金融・金銭教育研究校¹を中心に、実際の授業を公開するとともに、金融教育の専門家による講演等を併せて行っています。2017年度は、全国22か所の小学校、中学校、高等学校において開催しました(詳細については、別添2を参照)。

この間、当委員会では、各地委員会が委嘱した金融・金銭教育研究校に教材を提供したほか、同研究校等による公開授業の開催を支援しました。

(教材の改訂・拡充)

『これであなたもひとり立ち』生徒用教材および教師用指導書について、学校の授業により適した内容とするため改訂を行ったほか、同書の指導用電子教材の内容を拡充しました。

⁴ 金融・金銭教育研究校とは、学校等で幼児・児童・生徒それぞれの発達段階に応じた金融・金銭教育を研究・実践して頂くことを目的に、各地委員会が地元の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校に委嘱するものです。詳細については、「〔参考〕都道府県金融広報委員会を通じた活動 3. 金融・金銭教育研究校制度」をご参照下さい。

4. 金融教育フェスタの開催等

（「金融教育フェスタ」の開催）

2017年度は、前年度に続き「金融教育フェスタ」を全国2か所で開催しました（2017年度の開催地は、金沢市＜2017年12月＞および長崎市＜2018年1月＞）。開催に先立ち、開催地の金融広報委員会事務局とともに、地元の教育委員会等の教育関係者を訪問しました。同フェスタでは、「先生のための金融教育セミナー」と「親子のためのおかね学習フェスタ」を開催し、金沢市では約420名、長崎市では約590名の方にご参加頂きました。

このうち「親子のためのおかね学習フェスタ」では、小学校低・中学年を対象として、「おかねのおはなし会」（講師：いちのせかつみ氏）、「おかねの体験学習プログラム」（仕事体験、カレー作りゲーム）、「おかねの体験広場」（貯金箱作り、おかねクイズ、お札の秘密体験コーナー）といったプログラムを実施しました（詳細については、別添3を参照）。

（「おかねのね」の改訂）

『金融教育プログラム』全面改訂版の内容に合わせる形で、当委員会ホームページ掲載の児童・保護者向け学習コンテンツ「おかねのね」の全面改訂を実施しました。

大学における金融教育

1. 講義機会と内容の拡充

2017年度は、関係団体等と連携した金融リテラシー連続講義（以下、連携講座）を継続実施しました。

具体的には、金融リテラシー全分野をカバーする連携講座（半期原則15コマ）の開講大学数を昨年度の8大学から10大学に拡充しました。併せて、これまでの講義の経験を踏まえ、同講義で使用した「標準講義資料」を改訂しました。

また、上記連携講座のうち金融リテラシーの特定分野に絞った数コマの講義を行う「ミニ連携講座」を新たに開始（5大学）したほか、「大学生のための人生とお金の知恵」等を使用した当委員会事務局員による大学での講義を拡充しました（当委員会からの講師派遣は、前年度の28大学から33大学＜うち12大学は連携講座ないしミニ連携講座開講先＞に拡充）。

なお、社会人直前の若年層への働きかけを強化することを念頭に、より多くの地域・大学での開講を目指して、新たな講義資料（コアコンテンツ）の開発・担い手拡充策の検討に着手しました。

2. 教育の担い手の拡充に向けた取り組み

大学における連携講座の講師担い手育成を企図して、2017年度上期に実施した同講座の映像と講義資料をセットにして内部研修に使用するなど、その拡充に努めました。

同様に、2016年度の連携講座で使用した「標準講義資料」の対外公表版を当

委員会ホームページで公表したほか、広報誌でも情宣に努めました（同資料は、「大学における金融教育に関するモデル講義計画と講義資料」として当委員会ホームページに掲載されています<2017年5月掲載>）。

さらに、各地委員会による地元大学での連携講座の開講に際して、講義資料の提供や外部団体への協力要請等の支援を行いました。

社会人向けの金融教育

1. 各層の関心・ニーズに適合した情報発信

（ホームページの有効活用）

2017年度は、リニューアルしたホームページ⁵を活用し、社会人各層の関心やニーズに適合した情報発信に注力しました。

リニューアルしたホームページを有効活用するため、若手社会人と一般社会人に対象層を分けたうえで、スマートフォンによるアクセスを前提としたコンテンツの新規掲載に向けて準備を開始するとともに、ホームページの掲載コンテンツのうち、主要なコンテンツについてスマートフォン対応も意識した改訂に着手しました。また、ウェブ検索でのヒット率向上を図るため、優先度の高いものから順次HTML化に着手しました。

⁵ 当委員会は、2017年1月に、利用者の一層の使い易さに配慮したホームページの全面リニューアルを実施しました。従来は、全ての情報をトップページに案件・事業内容別に掲載していましたが、リニューアル後は、トップページをユーザー別に「一般の方へ」と「教育関係の方へ」に分けました。「一般の方」向けには、ライフイベント別に入り口を作り、情報を再整理しました。「教育関係の方」向けには、授業の進め方・実践事例集、教材・指導書、イベント・セミナー情報といった、教育関係の方々のニーズが高い情報にアクセスしやすいように配慮しました。また、画面デザインについても、スマートフォンからのアクセスでも見やすいものとなるように一段の改善を加えました。

（「くらきんクイズ」登場）

さらに、ホームページ掲載のクイズ・コンテンツについても、出題内容を広報誌「くらし塾 きんゆう塾」（くらきん、後述）の記事と連動する形としたうえで、「くらきんクイズ」⁶ に名称を変更しました。

2. 多様な団体等との連携強化

当委員会では、多様な団体等との連携を強化して、より効果的・効率的な学習機会の提供に注力しました。下記の具体事例をご覧ください。

- （1）「金融経済教育推進会議⁷」の事務局として、多様な関係団体等の間での意見交換や情報共有に貢献しました。また、一部団体傘下の個社による教育活動の実績把握を試行的に実施しました。
- （2）授業ノウハウや専門知識の共有を図るため、当委員会主催の講師向け研修会に関係団体等の参加を受け入れたほか、関係団体主催の研修会に金融広報アドバイザーを講師として派遣しました。
- （3）当委員会会長が消費者庁の「消費者教育推進会議」に参加し、関係省庁・団体等との意見交換を実施しました。

⁶ 広報誌「くらし塾 きんゆう塾」（くらきん）編集部に寄せられた読者の声をきっかけに読者ご自身の理解度を再点検する趣旨でスタートしました。毎号、編集長が「絶対に重要！」と考えるポイント5つをクイズ形式で出題しています。答えのページには、関連する「くらきん」の記事からポイントとなる部分を解説として引用し、記事全部を読めるようにリンクも設けています。詳細は、「くらし塾 きんゆう塾 vol. 43」2018年冬号の特集（『くらし塾 きんゆう塾』をクイズでおさらい『くらきんクイズ』はじめました）[を参照下さい](https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/kurashi_juku/pdf/201801/vol_043_010.pdf)（下記URL）。

https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/kurashi_juku/pdf/201801/vol_043_010.pdf <PDF996KB>。

⁷ 「金融経済教育推進会議」は、金融庁金融研究センターに設置された「金融経済教育研究会」が2013年4月に取りまとめ、公表した「金融経済教育研究会報告書」を踏まえて、同報告書の方針を推進するにあたり検討課題として示された諸課題への取り組みについて審議することを目的として、金融広報中央委員会が設置したものです。詳細は、<https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/suishin/> をご覧ください。

- (4) 当委員会事務局長が「つみたてNISA 推進・ハイレベル協議会」に参加し、関係省庁・団体等と意見交換を実施しました。
- (5) 主要な金融機関を対象に、個人型確定拠出年金（iDeCo<イデコ>）の普及促進に関する意見交換を実施しました。

3. 広報誌「くらし塾 きんゆう塾」の発行

当委員会では、広報誌として「くらし塾 きんゆう塾」を四半期毎に発刊しています。同誌は、幅広い層を対象に、当委員会の目指す金融教育の考え方や活動内容を分かりやすく伝えることを目的に、読者のニーズ等も踏まえながらタイムリーな記事の掲載に努めています。

とりわけ、2017年度は、長期の資産形成に関する各種優遇税制の活用方法に関する記事を重点的に掲載するなど、掲載記事を通じて当委員会としてのメッセージを明確化しました。

さらに、2017年夏号から広報誌を全面的に刷新し、表紙デザインの変更や全頁フルカラー化を実現しました。

(敬称略)

種類	記事のタイトル例
金融知識等の解説	<p>【教えて！知るぽると】</p> <p>「リボ払い。便利ばかりではありません。」</p> <p>「きちんと管理、生命保険・医療保険」</p> <p>「源泉徴収票の見方を知る」</p> <p>「iDeCo 初心者が 知っておきたい商品選び」</p> <p>【まんが わたしはダメサレナイ！！】</p> <p>「ロト6など数字選択式宝くじの当選番号を教えます、は詐欺！」</p>

	<p>「『必ず値上がりする』は嘘。仮想通貨の購入トラブルが急増中！」</p> <p>「役回りを演じてキャッシュカードと暗証番号をだまし取る、劇場型詐欺が急増中！」</p> <p>「突然現れる『ウィルスに感染しました』という偽警告！サポート契約まで誘導！それは詐欺です！」</p> <p>【そこが知りたい ぐらしの金融知識】</p> <p>「認知症への備え、成年後見制度を知る。」</p> <p>「奨学金を申し込む前に考えておきたいこと」</p> <p>「『つみたてNISA』『iDeCo』を使いこなした長期の資産形成を考える」</p> <p>「お金という観点から考える 60歳以降の人生設計」</p> <p>【金融広報アドバイザーの誌上セミナー】</p> <p>「一人ひとりの状況に合わせて自立を支援する『生活困窮者自立支援制度』」</p> <p>「なんとかなると思っていませんか 長い老後の生活資金」</p> <p>「高校生に伝えたい お金で困らないためのぐらしの基礎知識」</p>
<p>金融教育の 実践事例紹介</p>	<p>【金融教育の現場レポート】</p> <p>「保険という題材を通して、自分なりの価値観を形成。」</p> <p>「世界に通用する大きな器に 金融教育はまさにキャリア教育」</p> <p>「“人生すごろく”で自分の人生とリスク、それへの対策を考える」</p>
<p>生活やお金に 関する話題</p>	<p>【インタビュー】</p> <p>「脳のことをちょっと意識すると毎日が変わってきます。」(中野信子<脳科学者>)</p> <p>「自分で限界を決めたことはない。だから続けられていると思います」(中村憲剛<プロ・サッカー選手>)</p>

	<p>「成功の型にこだわると成功する確率は小さくなる」(厚切りジェイソン<IT企業役員・タレント>)</p> <p>「家庭料理の基本である『一汁一菜』で心を豊かに」(土井善晴<料理研究家>)</p> <p>【連載エッセイ】(新谷尚紀<民俗学者>)</p> <p>「お金には、古代からの日本の精神世界が息づいているのです。」</p> <p>「政治・経済・信仰を生んだ稲作、邪を祓い靈力を補給する米」</p> <p>「年齢と福を授ける年神様 お正月は1年で最大のリセットのチャンス」</p> <p>「もらう、あげる、の繰り返し、人の絆を深める 冠婚葬祭で行き来するお金の意味」</p>
<p>当委員会の活動を紹介する記事</p>	<p>【知るぼるとNEWS】</p> <p>「大学での金融教育のためのモデル講義計画と講義資料を公開しました。」</p> <p>「『先生のための金融教育セミナー』(東京)を開催しました」</p> <p>「『くらし塾 きんゆう塾』をクイズでおさらい 『くらしんクイズ』はじめました」</p> <p>「中学生・高校生を対象とする作文・小論文コンクール入賞作品のご紹介」</p> <p>【『知るぼると』の刊行物】</p> <p>「これであなともひとり立ち」</p> <p>「新成人のための 人生とお金の知恵」</p> <p>【まなびや訪問】(金融・金銭教育研究校の紹介)</p> <p>「山梨県 甲府市立中道南小学校」</p> <p>「宮城県立宮城広瀬高等学校」</p> <p>「大阪府 貝塚市立木島小学校」</p> <p>「福岡県立東鷹高等学校」</p>

4. 刊行物の発行・改訂

刊行物については、2017年度は、「暮らしと金融なんでもデータ」の改訂を行いました。当委員会のホームページに掲載するとともに、関係先に配付しました。

また、「金融商品なんでも百科」の改訂を行い、当委員会のホームページに掲載しました（2018年4月）。なお、本誌はホームページ掲載に止め、冊子の配付を取り止めました。

5. 国際的な意見・情報交換

2017年度も、当委員会事務局員が OECD 主催の「金融教育に関する国際ネットワーク会議（OECD/INFE）」の実務者会議等に参加し、金融教育を巡る国際的な動向把握に努めるとともに、わが国の取り組み状況等を報告しました。また、世界金融リテラシー高度化センター主催のシンポジウムに参加し、わが国の金融リテラシー調査の概要等について説明しました。

6. その他

（1）「家計の金融行動に関する世論調査」の実施・公表

「家計の金融行動に関する世論調査」は、当委員会が、家計の資産・負債や家計設計等の状況を把握し、これらの公表を通じて、①金融知識を身に付けることの大切さを広報すること、②家計行動分析のための調査データを提供すること、の2点を目的として毎年実施しているものです。

2017年度は、全国の二人以上世帯8,000世帯を対象に標本抽出調査し、47.1%の世帯（3,771世帯）から回答を得ました。単身世帯調査については、インター

ネット調査により 2,500 モニターを対象に行いました（概要については、別添 4 を参照）。

（２）調査論文「行動経済学を応用した消費者詐欺被害の予防に関する一考察」の公表（2017 年 12 月）

わが国では、かねて消費者を狙った詐欺（以下、消費者詐欺）が問題となっています。そこで、今般、行動経済学の知見⁸を採り入れつつ、実際に発生した被害事例に即して詐欺被害の心理的メカニズムを分析するとともに、具体的な詐欺被害予防策の検討結果を論文にまとめ、2017 年 12 月に「行動経済学を応用した消費者詐欺被害の予防に関する一考察」として対外的に発表しました（「知るぽると」のホームページに掲載）。

なお、本論文については、警察庁等から協力を得たほか、マスコミ等へのブリーフィングを実施しました。

各地の金融広報活動に対する支援

1. 活動事例等の共有

当委員会と各地委員会は、相互の活動で蓄積されたノウハウ（あるいは情報）の共有化⁹をはじめ、運営状況等についての意見交換等を行い、効果的な金融広報活動の一段の活性化に努めています。2017 年度においても、各地委員会の事

⁸ 消費者詐欺被害に至る過程については、被害者心理の変化のみならず複雑な要素が影響を及ぼしていますが、詐欺被害対策の実効性を高めていくためには、被害者の心理面への影響に止まらず、関連する行動経済学的な知見にも活用すべき点が多々あると言えます。

⁹ 具体的には、各地委員会による各種取り組み事例について、研修会や活動ライブラリー、「事務局ネット・システム」を活用して他の各地委員会と情報を共有しています。

務局長・事務局員、金融広報アドバイザーに対して、「事務局長・責任者会議」、「事務局員会議」、「金融広報アドバイザー研修会」を例年通り開催しました。

2. ノウハウの向上

2017年度の金融広報アドバイザー研修会では、『これであなただもひとり立ち』の指導用電子教材を使った演習や資産形成に関する外部講師による講演を実施するなど、その内容の充実を図りました。

また、金融広報アドバイザーの広域派遣制度（2016年1月新設）は、高いノウハウ・豊富な経験を持つ金融広報アドバイザーを他の委員会に派遣し、現地のアドバイザーにその手法等を伝授することで、金融広報アドバイザー全体のスキルアップを図ることを目指しています。2017年度も、各地委員会からの要請に応じて、金融広報アドバイザーの広域派遣を実施しました。

3. 各種活動の効果的かつ効率的な運用

各地委員会主催の講演会や親子向けイベント等に、当委員会による外部講師の紹介・派遣¹⁰や体験グッズ等の貸出等を実施しました。

また、2018年度にかけて、各地委員会等が使用するパソコン、会計専用システムの更新に向けて作業を進めているところです。

以 上

¹⁰ 当委員会では、各地委員会が開催する金融・経済講演会に対して、講師の紹介・派遣等を通じた支援・サポートを行っています。講師陣は、弁護士、公認会計士、ファイナンシャル・プランナー、大学教員、ジャーナリスト、作家など、多岐に亘っており、金融経済情勢、金融取引実務、ライフプラン、税・年金、金融トラブル・詐欺防止等をテーマとした講演会を全国各地で開催しています（主な金融・経済講演会の開催状況については、別添5をご覧ください）。

〔参考〕 都道府県金融広報委員会を通じた活動

1. 金融広報アドバイザー制度

金融広報アドバイザー制度とは、地域の方々に対し、中立公正な立場から、客観的で正確な金融関連知識を直接提供するために、各地委員会が金融経済に関する有識者等を金融広報アドバイザーとして選任し、当委員会が委嘱する制度です。2017年度末時点で委嘱している金融広報アドバイザーは全国で507名です。金融広報アドバイザーは、金融・経済の仕組み、資産形成、生活設計、金融商品の概要、年金、保険、金融トラブル、金融・金銭教育等をテーマにした講演会や講座・講習会をはじめとする広報活動で講師として活躍しています。

なお、当委員会では、金融広報アドバイザーの活動に関する情報や資料を各地委員会に提供するなどの支援を行っています。

2. 金融学習グループ制度

金融学習グループ制度とは、金融経済知識の習得のために自主的かつ意欲的に学習活動に取り組むグループに対して、各地委員会が活動目的、学習内容を審査したうえで、原則として1年間（活動実績等を踏まえて2回まで延長可）、「金融学習グループ」として認定し、金融広報アドバイザーの派遣や活動資金の一部援助等を行う制度です。2017年度末時点では、全国で19先が金融学習グループとして認定され、金融経済の基礎知識、金融商品の仕組み、ライフプランの立て方、年金・税金・保険の仕組み等をテーマに学習活動が行われています。

なお、当委員会では、各地委員会が行う金融学習グループへの助成を行っています。

3. 金融・金銭教育研究校制度

金融教育研究校あるいは金銭教育研究校（以下「研究校」という。）制度とは、学校や幼稚園等において、金融や金銭に関する具体的な教育を実践し、その効果的な方法を研究して頂くことを目的に、各地委員会が幼稚園または学校を1年ないし2年間、委嘱するものです。

高等学校、中学校、小学校等において、金融・経済に関する正しい知識の習得に力点を置くものを「金融教育研究校」、中学校、小学校、幼稚園等において、金銭や物に対する健全な価値観の養成に力点を置くものを「金銭教育研究校」として委嘱しています。当委員会および各地委員会では、研究校に対して、カリキュラムの作成や金融広報アドバイザーを含む講師の派遣、授業で用いる教材・資料等の提供、授業を進めるうえでの各種技術指導等の支援を行っているほか、研究・実践に必要な費用の一部を助成しています。

2017年度末時点では、全国38都道府県で計117校が研究校として委嘱され、その成果等に関する情報については、各地委員会によって開催される金融・金銭教育協議会や金融教育公開授業における発表等を通じて共有され、活動内容の向上に役立てられています。

(参考) 研究校の委嘱状況

	高等学校等	中高一貫	中学校	小中併置校	小学校	幼稚園・認定こども園	特別支援学校
金融教育研究校	38	2	19	0	10	0	1
金銭教育研究校	0	0	6	0	33	7	1

4. 金融教育研究グループ制度

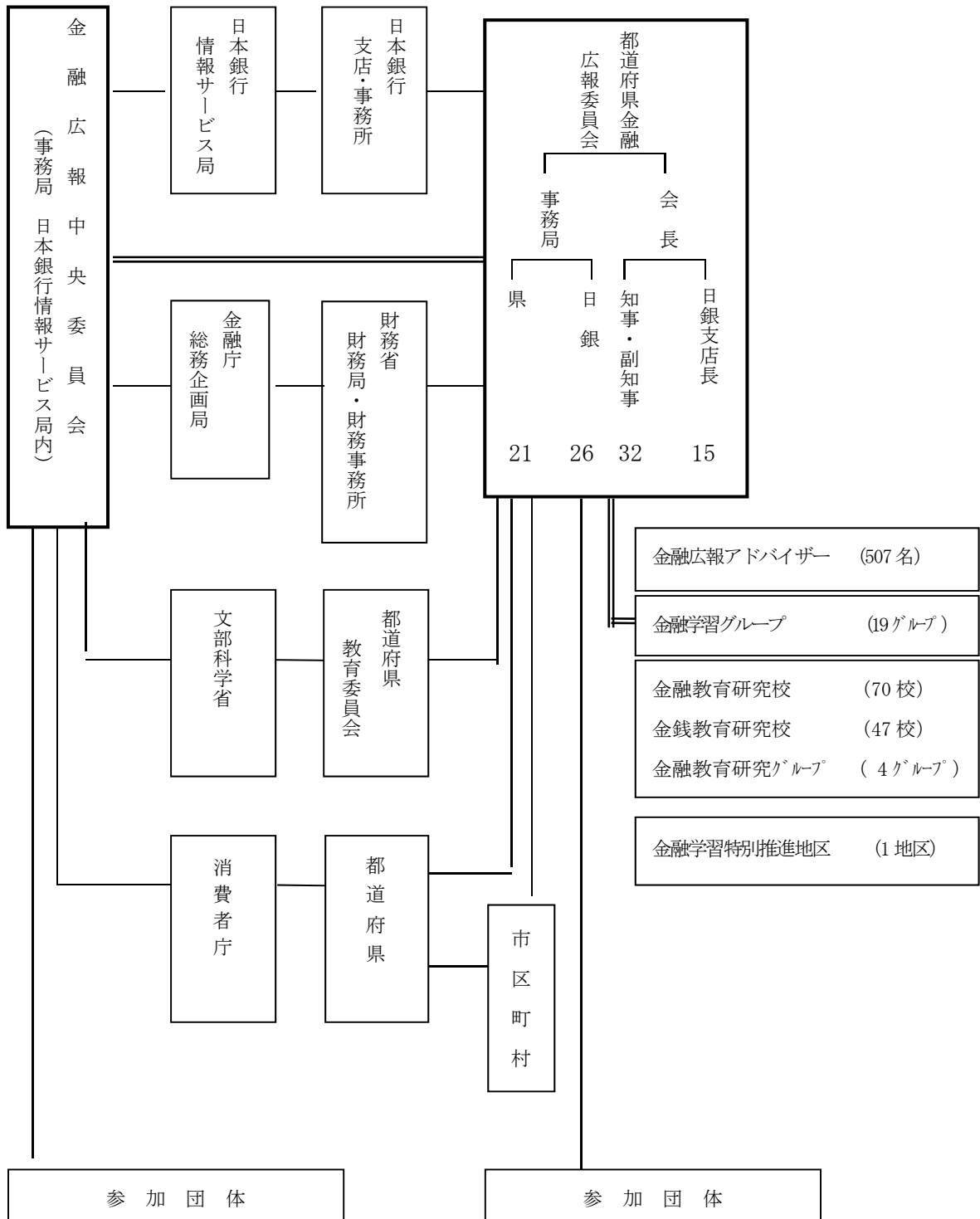
「金融教育研究グループ」制度とは、教員が金融教育の実践・研究活動を行う際、当委員会および各地委員会がノウハウや活動資金の一部を援助する制度です。先生方の学校横断的な研究会・グループ等を、金融教育研究校に準じて「金融教育研究グループ」として委嘱しています。

2017年度末時点で、全国1都2県において4グループが金融教育研究活動に取り組んでいます。当委員会および各地委員会では、この制度を通じ、実際に教育現場を担っておられる先生方に金融教育への理解を深めて頂くとともに、より効果的な授業が幅広く行われるように支援しています。

5. 金融学習特別推進地区制度

金融学習特別推進地区（以下「特区」という。）制度とは、市区町村またはその中の一定地域が、各地委員会および当委員会と一体となって、地域ぐるみ（住民、学校、PTA、各種団体等）で継続的な金融学習への取り組みを推進することを目的に、2004年度に設けられた制度です。同制度の委嘱は各地委員会が行い、委嘱期間は原則として2年間です。2017年度における特区の委嘱は1地区（東京都立川市）でした。

(資料) 金融広報委員会活動の相互連携図



<2018年3月31日現在>

(別添 1)

2017年度「先生のための金融教育セミナー」の概要

1. 2017年度「先生のための金融教育セミナー」(2017年8月、東京)

(敬称略)

開催日時	2017年8月7日(月) 9:50~16:20 【小学校・中学校向け】 2017年8月17日(木) 9:50~16:20 【高等学校・大学向け】
開催場所	日本教育会館(東京都千代田区)
主催・ 後援	主催:金融広報中央委員会 後援:文部科学省、金融庁、消費者庁、東京都教育委員会、全国公民科・社会科教育研究会、全国家庭科教育協会、日本消費者教育学会、経済教育ネットワーク、日本銀行
募集対象	対象:全国の小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校・特別支援学校(学級)・大学の教員、教育委員会指導主事および教職を目指す大学生・大学院生 参加者:約260名

【小学校・中学校向けの内容(8月7日<月>)]

(敬称略)

1. 来賓挨拶	金城 太一(文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐[併]学校教育官) <概要>2017年3月31日に告示された小学校および中学校の新学習指導要領における金融教育に関する内容の拡充等についてお話し頂きました。
2. パネル・ディスカッション	<テーマ>「次期学習指導要領が求める児童・生徒像と金融教育」 <パネリスト> 大杉 昭英(独立行政法人教職員支援機構次世代型教育推進センター 上席フェロー) 亀山 里美(東京都東村山市立回田小学校 主幹教諭) 三枝 利多(東京都目黒区立東山中学校 主任教諭) 田熊 純子(福岡県中間市立中間中学校 主幹教諭) <コーディネーター>岡崎 竜子(金融広報中央委員会事務局 金融教育 プラザリーダー) <概要>次期学習指導要領が目指している資質や能力を育むために金融教育がどのような役割を果たすことができるのか、次期学習指導要領を踏まえて金融教育を効果的に実践するためのポイントとは、といった点についてパネリストよりご発言頂きました。
3. DVD上映(昼食休憩時)	当委員会のDVD「見てわかる!金融教育一授業の進め方」を各分科会会場で上映しました。

<p>4. 分科会 (金融教育の事例紹介とワークショップ)</p>	<p>金融教育に取り組まれている先生方に、小学校・中学校の分科会で、実践事例の発表とワークショップの指導を行って頂きました。</p> <p>《小学校分科会 1》 進行・コメント：北 俊夫（国士舘大学 教授） （1）「市場体験型シミュレーションゲーム『Market Game』の開発と実践」 （3～6年 社会） 講師 鈴木 崇（山梨学院小学校 教諭） （2）『白嶺銀行』に預けたお金で苗を買い、野菜を栽培して『白嶺市場』で販売しよう」（全学年 総合的な学習の時間） 講師 野口 理（石川県立白山ろく少年自然の家 生涯学習課専門員、元 石川県白山市立白嶺小学校 教諭）</p> <p>《小学校分科会 2》 進行・コメント：曾我部 多美（東京都東村山市立回田小学校 校長） （1）「商品選択の観点を意識化し、価値観に基づく選択ができるようになるう」（5年 家庭） 講師 山下 綾子（埼玉県狭山市立狭山台小学校 教諭） （2）「金融教育との関連で実現する『考え、議論する道徳』」（6年 道徳） 講師 野村 宏行（東京都東大和市立第八小学校 指導教諭）</p> <p>《中学校分科会 1》 進行・コメント：大杉 昭英（独立行政法人教職員支援機構次世代型教育推進センター 上席フェロー） （1）「会社を作ってみよう」（3年 社会） 講師 仲村 秀樹（東京都江東区立第二亀戸中学校 非常勤教諭） （2）「生きていくこととお金について～ライフスタイルの学習を通じて自分の生き方を考える～」（3年社会＜公民的分野＞、総合的な学習の時間） 講師 小谷 篤義（岡山県倉敷市立多津美中学校 教諭）</p> <p>《中学校分科会 2》 進行・コメント：神山 久美（山梨大学大学院総合研究部教育人間科学学域 准教授） （1）「進路指導とリンクさせる金融教育の在り方について～家計ゲームを通して主体的な選択を行う姿勢を育てる～」（3年 社会＜公民的分野＞） 講師 池田 優子（広島県熊野町立熊野中学校 教諭） （2）「身近な消費生活と環境」（2年 技術・家庭＜家庭分野＞） 講師 田熊 純子（福岡県中間市立中間中学校 主幹教諭）</p>
---------------------------------------	---

【高等学校・大学向けの内容（8月17日＜木＞）】

（敬称略）

<p>1. 来賓挨拶</p>	<p>平野 誠（文部科学省大臣官房 教育改革調整官） ＜概要＞高等学校の学習指導要領の改訂に向けて、公民科の新しい科目である「公共」の中身の設計や家庭科の中身の見直しが行われていること等についてお話し頂きました。</p>
<p>2. パネルディスカッション</p>	<p>＜テーマ＞「次期学習指導要領が求める児童・生徒像と金融教育」 ＜パネリスト＞ 大杉 昭英（独立行政法人教職員支援機構次世代型教育推進センター 上席フェロー） 松島 斉（東京大学大学院経済学研究科 教授） 宮崎 三喜男（東京都立国際高等学校 主任教諭） 高橋 靖子（東京都立忍岡高等学校 主幹教諭）</p>

	<p><コーディネーター>岡崎 竜子 金融広報中央委員会事務局 金融教育プラザリーダー</p> <p><概要>次期学習指導要領が目指す資質や能力を育むために金融教育がどのような役割を果たすことができるのか、また、次期学習指導要領を踏まえ金融教育を効果的に実践するためのポイントとは、といった点についてパネリストよりご発言頂きました。</p>
<p>3. DVD上映（昼食休憩時）</p>	<p>当委員会のDVD「見てわかる！金融教育—授業の進め方」を各分科会会場で上映しました。</p>
<p>4. 分科会（金融教育の事例紹介とワークショップ）</p>	<p>金融教育に取り組まれている先生方に、高等学校・大学の分科会で、実践事例の発表とワークショップの指導を行って頂きました。</p> <p>《高等学校分科会1》</p> <p>進行・コメント：大杉 昭英（独立行政法人教職員支援機構次世代型教育推進センター 上席フェロー）</p> <p>（1）「少子高齢化社会における社会保障制度について多角的に考えてみよう」（3年 政治・経済） 講師 宮崎 三喜男（東京都立国際高等学校 主任教諭）</p> <p>（2）「商品開発や起業を学んで」（2年 政治・経済） 講師 澁谷 亮輔（新潟県農林水産部漁港課管理係 主任、前 新潟県立十日町高等学校 教諭）</p> <p>《高等学校分科会2》</p> <p>進行・コメント：大藪 千穂（岐阜大学教育学部 教授）</p> <p>（1）「ひとり暮らしの生活費をシミュレーションしてみよう」（1年 家庭基礎） 講師 中山 知子（宮崎県立日南高等学校 教諭）</p> <p>（2）「お金はゆたかな暮らしのパートナー～特別支援学校高等部でのお金の学習～」（特別支援学校高等部） 講師 小金井 俊夫（東京学芸大学附属特別支援学校 副校長）</p> <p>《高等学校分科会3》</p> <p>進行・コメント：谷内 祥訓（富山県立新湊高等学校 校長）</p> <p>（1）「金融をとりまくパーソナルファイナンス～お金を借りる、将来に備えるについて考える～」（3年 商業） 講師 佐藤 静江（宮城県宮城広瀬高等学校 教諭）</p> <p>（2）「『東海市まちづくり応援大使』～知的財産権を活用した金融教育」（3年 商業） 講師 黒瀬 喜人（愛知県立東海商業高等学校 教諭）</p> <p>《大学分科会》</p> <p>進行・コメント：小関 禮子（帝京大学大学院教職研究科 客員教授）</p> <p>（1）「『キャリア教育』としての『金融教育』～大学における効果的な実施方法～」 講師 小形 美樹（仙台青葉学院短期大学 教授）</p> <p>（2）「教員養成課程における金融教育」 講師 小林 陽子（群馬大学教育学部 准教授）</p>

2. 「金融教育フェスタ 2017」・「先生のための金融教育セミナー」
(2017年12月・石川、2018年1月・長崎)

(敬称略)

開催日時	<p>【石川】 2017年12月23日(土・祝) 10:10~16:55 【長崎】 2018年1月28日(日) 10:10~16:55</p>
開催場所	<p>【石川】 金沢商工会議所 【長崎】 長崎ブリックホール</p>
主催・後援	<p>【石川】 主催：金融広報中央委員会、石川県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、石川県、金沢市、石川県教育委員会、金沢市教育委員会、石川県小中学校長会、石川県高等学校長協会</p> <p>【長崎】 主催：金融広報中央委員会、長崎県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県小学校長会、長崎県中学校長会、長崎県高等学校長協会</p>
募集対象	<p>対象：小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校・特別支援学校(学級)・大学の教員、教育委員会指導主事、および教職を目指す大学生・大学院生 参加者：【石川】35名、【長崎】22名</p>

内 容	<p>1. 基調講演 <テーマ>「次期学習指導要領の下での金融教育」 <講師>樋口 雅夫（文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教科課程調査官）</p> <p><概要>次期学習指導要領で求められている資質・能力と金融教育との関係等についてお話し頂きました。</p> <p>2. 実践発表・ワークショップ1 進行・コメント：樋口 雅夫（文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教科課程調査官） <テーマ>「郷土の産業の歴史を学び、より豊かな地域づくりを考える」 <講師>小林巧（東京都教職員研修センター 東京教師養成塾 教授）</p> <p>3. 実践発表・ワークショップ2 進行・コメント：樋口 雅夫（文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教科課程調査官） <テーマ>「自分たちで栽培したお米を使ったお菓子を企画・販売しよう ～6次産業化を意識した起業家教育～」 <講師>小谷 勇人（埼玉県春日部市立中野中学校 教諭）</p> <p>4. 実践発表・ワークショップ3 進行・コメント：樋口 雅夫（文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教科課程調査官） <テーマ>「『これであなたもひとり立ち』指導用電子教材を使った金融教育の進め方」 <講師>渡邊 祐子（『これであなたもひとり立ち』執筆者）[石川] 池山 純子（『これであなたもひとり立ち』執筆者）[長崎]</p>
-----	--

(別添2)

2017年度「金融教育公開授業」の概要

(敬称略)

開催日	開催校名	事業名	授業／講義内容等
2017年 9月8日 (金)	春日市立 春日東 小学校 【福岡県】	公開授業	「お店をひらこう」(ひがし1組 算数科) 「にこにこだいさくせん」(ひがし2組 自立活動) 「じぶんにできるしごと」(1年1組、3組 生活科) 「ふえたり、へったり」(1年2組 算数科) 「規則の尊重～よりみち～」(1年4組 道徳) 「ゴムを使ったおもちゃで遊ぼう」(2年1・3組 TT 生活科) 「かけ算(1)」(2年2組 算数科) 「規則の尊重～きいろいベンチ～」(2年4組 道徳) 「あまりのあるわり算」(3年1組 算数科) 「規則の尊重～きまりじゃないか～」(3年2組 道徳) 「さぐろう!校区の食べ物屋さん」(3年3・4組 TT 総合的な学習の時間) 「友情信頼～大きな絵はがき～」(4年1組 道徳) 「福岡のお宝『ラー麦』発見」(4年2組、3組 総合的な学習の時間) 「計算のきまりを調べよう」(4年4組 算数科) 「割合とグラフ」(5年1組 算数科) 「郷土の自慢発見プロジェクト」(5年2組、4組 総合的な学習の時間) 「公德心～駅前広場はだれのもの」(5年3組 道徳) 「誠実、明朗～手品師～」(6年1組 道徳) 「比」(6年3組 算数科) 「もっと地域とかかわろうプロジェクト2017」(6年2組、4組、5組 総合的な学習の時間)
		講演	「社会に開かれた教育課程の創造～カリキュラム・マネジメントと金融教育～」 (田村 学 <國學院大學人間開発学部 教授>)
		分科会	指導助言等
9月20日 (水)	大分県立 日田三隈 高等学校 【大分県】	公開授業	「日田市をさらに元気にする方法をみんなで考える」(2年生 現代社会)
		講演	「地方の人口減少による高齢社会でも、みんなが幸せになるお金の話」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト>)

10月6日 (金)	美浦村立 木原 小学校 【茨城県】	公開授業	「キッズ☆カンパニー『事業計画をアピールして、融資を獲得しよう!』」 (6年生 総合的な学習の時間)
		研究発表	『もの』『ひと』を大切にし、進んで社会にかかわろうとする児童の育成～地域とともに進める起業体験活動を通して～
		講演	「日本とアメリカの違いから学ぶ賢い消費者のみち」 (ダニエル・カール <翻訳家、タレント、山形弁研究者>)
10月13日 (金)	山梨県立 上野原 高等学校 【山梨県】	公開授業	「金融の種類や特徴を学ぶ」(1年生 現代社会) 「西鶴諸国ばなし～大晦日は合はぬ算用～」(2年生 国語) 「指数関数と数列の和を利用して複利計算を学ぶ」(2年生 数学Ⅱ・B) 「医療制度とその活用」(2年生 保健) 「家計管理と社会保障制度について学ぶ」(2年生 家庭) 「集合と命題～推論～」(3年生 数学) 「物理現象から複利計算を考察しよう」(3年生 物理) 「地域の活性化～上野原のPRビデオを作る～」(3年生 英語)
		講演	「日本とアメリカの違いから学ぶ賢い消費者への道」 (ダニエル・カール <翻訳家、タレント、山形弁研究者>)
		研究報告会	本校が取り組む金融教育・実践事例の紹介
10月27日 (金)	津島市立 蛭間 小学校 【愛知県】	公開授業	「ぼくたち わたしたちの未来へ」(4年2組 総合的な学習の時間)
		研究発表	「人・ものを大切にする心豊かな児童の育成 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れて～」
		講演	「お金のしつけ～子どものお金の教育を考える」 (あんびるえつこ <生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表>)
10月30日 (月)	札幌市立 本郷 小学校 【北海道】	公開授業	「情報を収集して、買い物の計画を立てよう」(6年生 家庭科)
		講演	「子どものお小遣いにまつわる法律」 (菊地幸夫 <弁護士>)
10月31日 (火)	長崎県立 松浦 高等学校 【長崎県】	公開授業	「政府の役割と財政」(3年生 公民科 (現代社会))
		研究協議	教育関係者による協議
		講演	「苦労を笑いに変えるコミュニケーション力」 (パッケンマッケン <タレント>)

11月7日 (火)	福岡県立 東鷹 高等学校 【福岡県】	公開授業	「インフレ・デフレって何だろう？」(1年生 現代社会) 「自主性を育む金融教育 ～オリジナルブランド商品の販売実習を通して～」(1年生 生活産業基礎)
		講演	「今後の生活設計をする上で大切なこと」 (山田真哉 <公認会計士・税理士>)
11月13日 (月)	柳川市立 柳南 中学校 【福岡県】	研究概要報告	「学ぶ意欲を高める授業づくりの研究～めあてを達成させるための振り返り活動を通して～」
		公開授業	「殿様のちゃわん」(1年生 道徳) 「変化と対応」(1年生 数学科) 「私たちの消費生活」(2年生 技術・家庭科 <家庭分野>) 「POWER-UP (4) Speaking ファーストフード店で」(2年生 英語科) 「足踏みミシンの修理屋さん」(3年生 道徳) 「化学変化とイオン」(3年生 理科)
		講演	「日米のディズニーで学んだ感動のサービス」 (加賀屋克美 <(有)加賀屋感動ストアーマネジメント代表取締役>)
11月16日 (木)	佐賀県立 鹿島実業 高等学校 【佐賀県】	公開授業	「株価変動要因について」(3年生商業科会計コース 課題研究)
		講演	「知らんとアカン! お金のおもしろい話」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト>)
11月17日 (金)	上越市立 大島 中学校 【新潟県】	公開授業	「地域活性化事業の提案と相互評価」(1～3年生 総合的な学習の時間)
		講演	「日米のディズニーで教わった感動のサービス」 (加賀屋克美 <(有)加賀屋感動ストアーマネジメント代表取締役>)
11月21日 (火)	静岡県立 浜松湖北 高等学校 【静岡県】	公開授業	「貨幣とは何か、あるいは、どうすれば儲かるのか」(2年生 国語総合) 「市場経済の仕組み」(1年生 現代社会) 「表とグラフの活用」(3年生 社会と情報・数学) 「環境を破壊する損害はいくら?」(2年生 生物基礎) 「Which is a better place?」(2年生 コミュニケーション英語Ⅱ) 「医療制度その活用」(2年生 保健体育) 「ライフスタイルと収支」(1年生 家庭基礎) 「野菜の価格」(2年生 野菜) 「ものができるまで」(2年生 機械設計) 「ネットワーク決済の光と影」(2年生 ビジネス情報)

		研究発表	4 学科連携組織「湖北 MAGIC」の活動実践の発表
		講演	「誰もが持っている『ココロの盲点』にどう向き合うか～ お金の騙されないために～」 (池谷裕二 <東京大学薬学部教授・脳情報通信融合研究 センター 主任研究員>)
11月21日 (火)	兵庫県立 小野 高等学校 【山梨県】	公開授業	「財務計画の立案 ～ビジネスプランを実現するた めに～」(商業科2年生 商品開発)
		講演	「ディズニーで学んだ最高のサービス」 (加賀屋克美 <(有)加賀屋感動ストアーマネジメン ト 代表取締役>)
11月22日 (水)	愛知県立 一宮商業 高等学校 【愛知県】	公開授業	「資産調達」(1年3・5組 ビジネス基礎) 「資金繰りの計算」(2年5組 ビジネス情報) 「財務諸表の活用」(3年3・4組 財務会計Ⅱ) 「POP 広告の作成および株式会社の資金を集めるた めの事業計画」(3年5・6組 広告と販売促進)
		生徒研究発表	1. 「高校生の身近にある税金について」(国際ビジネス科 企業経済研究班) 2. 「高校生の作ったお金の本」(経理科セールスデザイ ン班)
		研究報告	「本校における金融教育 ～2年間の軌跡～」
		講演	「男女共同参画社会とキャリアアップについて」 (住田裕子 <弁護士>)
11月25日 (土)	佐倉市立 千代田 小学校 【千葉県】	公開授業	「はたらけ せっせ」(1年生 道徳) 「ノートのはこぎ」(2年生 道徳) 「はたらく人とわたしたちの暮らし」(3年生 社会科) 「ごみの処理と利用」(4年生 社会科) 「めざそう買い物名人」(5年生 総合的な学習の時間) 「自分の生活を見直そう」(6年生 学級活動) 「いちょうカフェをひらこう」(いちょう学級 生活単元)
		講演	「豊かな生活・人生を築くための小学生からの金融教育 ～お金や物品のトラブルや問題を知り、限られたお金を 上手に使う工夫～」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、 生活経済ジャーナリスト>)
		教育ミニ集会	「小・中学生におけるお金に関わる諸問題と改善策」 1. 子どもたちのお金の使い方についての現状と課題 2. 金融教育における家庭や地域の役割

12月1日 (金)	笛吹市立 御坂東 小学校 【山梨県】	公開授業	「かしこく買って 上手に作ろう」(6年生 家庭科) 『もったいない』を解決しよう(4年生 特別活動)
		研究発表	「自ら考え判断し、豊かに表現する児童の育成」 ～認め合い、共に学ぶ活動を通して～
		講演	「子どもはお金が好きやねん～今、金融教育が必要なワケ～」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、 生活経済ジャーナリスト>)
12月13日 (水)	群馬県立 前橋商業 高等学校 【群馬県】	公開授業	「親が高齢になった時の財産管理を考えよう」(1年生 ビジネス基礎) 「悪徳商法に騙されないようにしよう」(1年生 ビジネス基礎) 「ビジネスゲームを通じて会計を考えよう」(2年生 財務会計Ⅰ)
		講演	「金融教育を考える～日米の生活体験を通じて～」 (ダニエル・カール <翻訳家、タレント、山形弁研究家>)
12月15日 (金)	京都市立 下鳥羽 小学校 【京都府】	公開授業	「レストランへいこう」(ひまわり学級 生活単元学習) 「ものを大切にしよう」(1年生 学級活動) 「きょう土をひらく」(4年生 社会科) 「新しい日本、平和な日本へ」(6年生 社会科)
		研究発表	「金融教育の実践報告」
		講演	「学校における金融教育の課題」 (北 俊夫 <国土舘大学教授>)
2018年 1月26日 (金)	学校法人 片山学園 片山学園 中学校 【富山県】	公開授業	「地方公共団体の財政」(2年生 社会科)
		講演	「日米のディズニーで学んだ感動のサービス」 (加賀屋克美 <(有)加賀屋感動ストアーマネジメント 代表取締役>)
2月2日 (金)	大田区立 大森第五 小学校 【東京都】	公開授業	「わたしたちのくらしと海苔工場」(3年生 社会科) 「自然環境を守り・生かす 小笠原村」(4年生 社会科) 「情報を生かすわたしたち」(5年生 社会科) 「わたしたちのくらしと日本国憲法」(6年生 社会科)
		研究発表	(全体会)『「根拠・理由・主張」を大切にしたい指導を通して、思考力・表現力を育てる』 (分科会)
		講演	「金融教育と社会科教育」 (北 俊夫 <国土舘大学教授>)

2月15日 (木)	富山県立 新湊 高等学校 【富山県】	公開授業	「資金を適正に管理することの大切さについて考える」(1年生 ビジネス基礎)
		講演	「大事なことなのに学校で教えないもの=お金」 (菊地幸夫 <弁護士>)
2月17日 (土)	社会福祉法人 小さき花の輪会 むつみこども園 【和歌山県】	公開保育	「お店屋さんごっこ」(全園児)
		研究発表	実践報告
		講演	「親子で考えよう！ ものやお金、人を大切にする気持ち」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト>)

(別添3)

「金融教育フェスタ 2017」・「親子のためのおかね学習フェスタ」の概要

(敬称略)

開催日時	【石川】2017年12月23日(土・祝)10:00~17:00 【長崎】2018年1月28日(日)10:00~17:00
開催場所	【石川】金沢商工会議所 【長崎】長崎ブリックホール
主催・後援	【石川】 主催：金融広報中央委員会、石川県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、石川県、金沢市、石川県教育委員会、金沢市教育委員会、石川県小中学校長会、石川県高等学校長協会 【長崎】 主催：金融広報中央委員会、長崎県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県小学校長会、長崎県中学校長会、長崎県高等学校長協会
内容	1. おかねのおはなし会 ＜演題＞「お・か・ねってナニ？ ほしいモノとひつようなモノ」 ＜講師＞ いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー／生活経済ジャーナリスト) 2. おかねの体験学習プログラム (1) 仕事体験 参加した子どもたちは、中央銀行の見習い職員として、グループごとに貨幣マスを使ったコインの選別と、模擬銀行券を使ったお札の数え方、偽札さがしを体験し、働いた報酬としてお給料(模擬貨幣)を受け取りました。 (2) カレー作りゲーム(考案 あんびる えつこ氏) 仕事体験で得たお給料で、家族のためにカレーの材料を買うというゲームに取り組みました。食材の値段を考えながらリストを作成して買い物に挑戦し、限られた予算の中でのおかねの「使い方」を学習しました。最後に、子どもたちに「おかねの体験学習プログラム認定証」を贈呈しました。 3. おかねの体験広場 (1) 貯金箱作り 知るぼるとのキャラクターが描かれた「自動車」型、「新幹線」型、「はしご車」型の特製貯金箱に、好きな色を塗って組み立てました。 (2) おかねクイズ 会場内のヒントパネルを手がかりに、スタンプラリーを楽しみながら、おかねに関する質問に答えるクイズに挑戦しました。

(3) お札の秘密体験コーナー

マイクロスコープやブラックライトを使って、お札に用いられている特殊印刷などの最新技術を知って頂きました。

(4) おかねについて学ぶコーナー

小判五十両包み、フェイ（石貨）など珍しい貨幣や金塊のレプリカを展示。千両箱の思いもよらぬ重さに驚くなど、体験を通じて、おかねのことを学んで頂きました。

(5) 模擬一億円パック重さ体験コーナー

100万円の束100個に相当する大きな「かたまり」に、力自慢をかねて、家族でその重さと大きさを体験して頂きました。

(6) 写真撮影コーナー

一万円札の顔出しパネルと、知るぼるとキャラクターの「矢口ファミリー」が勢ぞろいした立体パネルの2点を用意し、それぞれのポーズで記念撮影をお楽しみ頂きました。

4. 資料コーナー

主催者の金融知識や金融教育に関する資料を提供しました。

5. 知るぼるとホームページ閲覧コーナー

おかねに関するさまざまな情報を提供している知るぼるとホームページを自由にご覧頂きました。

「家計の金融行動に関する世論調査」の概要 (2017 年度)

1. 二人以上世帯調査

調査の内容 (主な調査項目)	<p>(1) 金融資産の状況等 金融資産の有無、金融資産保有額、内訳等</p> <p>(2) 金融負債の状況等 借入金の有無、借入金残高、借入の目的等</p> <p>(3) 実物資産・住居計画 住居の状況、住宅取得必要資金、この1年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無等</p> <p>(4) 生活設計 (老後、消費含む) 家計全体のバランス、過去1年間の家計運営、老後の生活についての考え方等</p> <p>(5) 決済手段 日常的な支払いの主な資金決済手段、平均手持ち現金残高等</p> <p>(6) 金融制度等 預金保険制度の認知度、金融機関の選択理由等</p>
調査対象者の抽出方法	層化二段無作為抽出法により全国から500の調査地点を選び、各調査地点から無作為に16の世帯(二人以上世帯)を選ぶことによって計8,000の調査対象(標本)を抽出しました。
調査の方法	<p>(1) 訪問と郵送の複合・選択式によって調査依頼・回収しました。</p> <p>(2) 2017年調査の実施および結果の集計は、(株)日本リサーチセンターに委託しました。</p>
調査の時期	2017年6月16日～7月25日
回収状況	<p>標本数：8,000名</p> <p>回収数：3,771名</p> <p>回収率：47.1%</p>
調査結果の公表	調査結果は、当委員会のホームページで公表した(2017年11月10日)ほか、冊子を作成しました。

2. 単身世帯調査

調査の内容 (主な調査項目)	上記の二人以上世帯調査と同じ。
調査対象モニターの 選定方法	<ul style="list-style-type: none">・20歳以上70歳未満で、単身世帯を構成する者。・モニター数は2,500を有効回収数として確保する設計とし、直近(2015年)の国勢調査の単身世帯データにおける地域・年代・男女別の構成比に基づき回答者割付を行いました。
調査の方法	<p>(1) インターネットモニター調査の方法によって、調査依頼・回収しました。</p> <p>(2) 2017年調査の実施および結果の集計は、(株)日経リサーチに委託しました。</p>
調査の時期	2017年6月23日～7月5日
回収状況	有効回収モニター数 : 2,500名
調査結果の公表	上記の二人以上世帯調査と同じ。

(別添5)

主な金融・経済講演会の開催状況 (2017年度)

(敬称略、講師名欄の()内のプロフィールは、講演会当時のもの)

日時	開催地	講師名	テーマ
2017年 5月16日(火)	栃木	ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家)	くらしとおかねのお役立ちヒント～日 米の生活体験を通じて～
5月20日(土)	和歌山	荒木由美子 (女優、タレント)	介護のミ・カ・タ～知っておきたい心 づもりとお金の準備～
5月20日(土)	奈良	片山善博 (早稲田大学 政治経済学術院教授)	地域を再生するために 今、消費者に 求められること
5月29日(月)	鳥取	片山善博 (早稲田大学 政治経済学術院教授)	日本の税財政の現状と今後の展望
7月6日(木)	東京	生島ヒロシ (フリーアナウンサー)	人生を楽しむ秘訣～豊かな暮らしは家 計も元気～
7月24日(月)	徳島	パッケンマッケン (タレント)	学校では教えない、身近なお金とけい ざいのこと
9月9日(土)	山口	菊地幸夫 (弁護士)	出会いの人生から学んだこと
9月10日(日)	青森	菊地幸夫 (弁護士)	賢い消費者になろう
9月23日(土)	富山	荒木由美子 (女優、タレント)	介護のミ・カ・タ～知っておきたい心 づもりとお金の準備～
10月14日(土)	佐賀	杉村太蔵 (元衆議院議員)	杉村太蔵が語るお金と人生設計と生き るチカラ講座
10月21日(土)	北海道 (札幌)	杉村太蔵 (元衆議院議員)	どうする老後の資産?～タイゾー流資 産形成術のすすめ
10月21日(土)	岐阜	住田裕子 (弁護士)	気をつけよう!金融トラブル～騙され ないで!うまい話にご用心～

10月22日(日)	茨城	杉村太蔵 (元衆議院議員)	タイゾーの「お金」と「生きるチカラ」 講座～これからの働き方、資産形成の 極意
10月28日(土)	秋田	荒木由美子 (女優、タレント)	介護のミ・カ・タ～知っておきたい心 づもりとお金の準備～
10月28日(土)	北海道 (旭川)	白石真澄 (関西大学教授)	豊かなシニア生活の備え
10月28日(土)	島根	菊地幸夫 (弁護士)	世の中のうまい話はない！消費者問題 あれこれ
10月29日(日)	香川	荒木由美子 (女優、タレント)	介護のミ・カ・タ～知っておきたい心 づもりとお金の準備～
11月3日(金)	北海道 (帯広)	菊地幸夫 (弁護士)	身近な法律相談と消費者問題～世の中 うまい話はない！実態を学んで心豊か な人生を～
11月4日(土)	滋賀	杉村太蔵 (元衆議院議員)	若い世代に伝えたい、タイゾー流 キャ リアと資産形成
11月8日(水)	千葉	杉村太蔵 (元衆議院議員)	おかねとかしこくつきあおう！タイゾ ーの金融経済『超』入門～生きる力、 自立する力を高めるために～
11月12日(日)	岡山	荒木由美子 (女優、タレント)	介護のミ・カ・タ～知っておきたい心 づもりとお金の準備～
11月14日(火)	石川	出口治明 (ライフネット生命保険(株) 創業者)	超低金利下でのお金の増やし方
11月15日(水)	兵庫	高岡達之 (読売テレビ放送(株)報道局 解説委員)	ニュースで繋がる、暮らしとお金と“日 本”と
11月18日(土)	岩手	山崎元 (経済評論家)	人生にお金はいくら必要か～超シンプ ルな人生設計の基本公式
11月18日(土)	群馬	宮川俊二 (キャスター)	『世の中を読み取る力』～正しい判断 を導くための情報マネジメント
11月18日(土)	福島	杉村太蔵 (元衆議院議員)	タイゾー流資産形成術のすすめ

11月19日(日)	沖縄	大江英樹 (ファイナンシャルプランナー、経済コラムニスト)	「老後貧乏にならないためのシンプルなルール」
11月24日(金)	福岡	住田裕子 (弁護士)	長寿社会を安全・安心に暮らすために
11月29日(水)	高知	大竹文雄 (大阪大学 社会経済研究所教授)	暮らしに役立つ行動経済学 正しく判断するために知っておくべきこと
12月2日(土)	北海道 (釧路)	パッケンマッケン (タレント)	パッケンマッケンの勉強は娯楽だ!
2018年 1月13日(土)	静岡	パッケンマッケン (タレント)	パッケンマッケンの勉強は娯楽だ!
1月20日(土)	愛媛	井戸美枝 (CFP、社会保険労務士、 キャリアカウンセラー)	年金・医療・介護 老後の不安に備える
1月27日(土)	山梨	杉村太蔵 (元衆議院議員)	「お金について考えてみよう!タイゾーの金融経済『超』入門」～生きる力、自立する力を高めるために
1月27日(土)	宮城	出口治明 (立命館アジア太平洋大学 学長)	数字で考えるありのままの日本
1月28日(土)	神奈川	杉村太蔵 (元衆議院議員)	「誰にでもできる資産を増やす極意」
2月6日(火)	広島	パッケンマッケン (タレント)	一步を踏み出すときに役立つ!コミュニケーション力
2月7日(水)	愛知	荒木由美子 (女優、タレント)	家族の絆～知っておきたい介護の準備、お金の準備～
2月15日(水)	大分	丸山晴美 (節約アドバイザー)	夢をかなえる小さな節約術
2月23日(木)	長崎	杉村太蔵 (元衆議院議員)	バカの作法～僕の人生の儲け方～
3月8日(木)	長野	パッケンマッケン (タレント)	お金にまつわる笑撃的国際交流